

平成 20 年度前期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	人間行動論
専門科目 1	心理学

問題 1、問題 2、問題 3、問題 4 のうちから、2 問を選択して、解答しなさい。その際、解答用紙は 1 問につき 1 枚を用いること。また、どの問題についての解答か分かるように、解答用紙には問題番号を明記すること。

平成 20 年度前期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	人間行動論
専門科目 1	心理学

問題 1

私の眼や耳、皮膚などの感覚器の把握する外界は必ずしも正しいとは限らず、しばしば錯覚が生じている。さて、これは錯覚だ、とわかれば、修正された「正しい」外界がみえてくるのか。そんなことにはならない。外界のみえ方は今まで通りである。ところで、このように持続している「私の外界に関する間違った解釈」を研究することに、どんな意義があるのだろうか。

平成 20 年度前期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	人間行動論
専門科目 1	心理学

問題 2

最近、心理学の一部の領域で「Evidence-Based (エビデンスに基づいた)」という考え方が注目されており、いくつかの関連学会年次大会や心理学関連シンポジウム等で、テーマとして取り上げられている。

これをふまえて、

- ・そもそも「Evidence-Based」とはどのようなことを言うのか。
- ・「Evidence-Based」にはどのような意義があるのか。
- ・「Evidence-Based」を重視しすぎることによる弊害は無いのか。

について、あなた自身の考えを合計 800 字程度で述べなさい。

平成 20 年度前期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	人間行動論
専門科目 1	心理学

問題 3

人間の「情緒」「行動」「認知」に関する社会心理学的な研究の例を一つずつ挙げて、それぞれの研究について、研究の意義と課題を論じなさい。

平成 20 年度前期・岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程入学試験問題

講 座	人間行動論
専門科目 1	心理学

問題 4

人間を含む霊長類は社会的な存在であり，社会集団を形成している。社会集団では，集団内の地位をめぐる権力闘争，謀略，協調，欺瞞などがしばしば行なわれる。このような社会的駆け引きは，物体を対象とした認知や行動とは比較にならないほど複雑である。人間はこのような複雑な社会的環境に置かれることによって，その知能が飛躍的に進化したと考えられている。

このような社会的知性の観点を十分に考慮した上で，人間における“自己”の機能的役割について，あなたの考えるところを述べなさい。